

よいことの
ために
手を取りあおう



クラブテーマ

「来て見て知って ～つながるロータリー～」

国際ロータリー第2750地区 多摩中グループ
東京武蔵国分寺ロータリークラブ

週報

2026.5.25

第1390回例会 報告



司会：

内田 次郎 SAA委員長

【開会点鐘】 **村谷 晃司** 会長



【国歌・ロータリーソング】

「四つのテスト」

ソングリーダー **佐藤 喜義** 会員

【会長の時間】 **村谷 晃司** 会長



前回の本例会場での例会では、「しめ縄・大麻・神域をめぐる日本のかたち」と題して、精麻伝道師の牧野様と山上様にお話しいただきました。日本にはいろいろな伝統文化がありますが、その一端に触れること

ができました。伝統文化という点では、先日の卓話では、蓮心流香道家元の渡辺えり代様にお越しいただきましたし、当クラブでは、国分寺の史跡に関する奉仕活動をいくつも行ってありますが、歴史や伝統を知らながら新しいことにも挑戦していければと思います。

さて、少し話は変わりますが、先日、次年度の地区のロータリー財団委員会のキックオフミーティングが開催されました。複数の小委員会がありますが、鍋木会員、興水会委員、矢野会員、村谷に加えて、次年度から、三枝幸夫会員も加わります。スライドの写真は、キックオフミーティングの際の紹介挨拶で登壇してお話しされている三枝会員です。ぜひ、地区で活動の世界を広げていただくとともに、クラブにもいろいろな情報を共有いただきたいと思います。

そして、先週の土曜日には、国分寺駅南口で献血活動を行いました。11時30分から16時の受付時間内に多くお方に協力いただきました。早速、東京都赤十字献血センターから献血実施報告書が届いておりますので、スライドでご紹介させていただきます。合計64名の方に申し込みいただき、55名の方に献血いただきました。用意した卵が足りなくなり山本幹事に追加購入いただきました。参加の際には、スライドでご覧いただいているような奉仕者名簿に署名して必要事項の確認をすることになっていましたが奉仕の際に知り得た個人情報の取り扱いについて

の確認もなされていまして。昨今、個人情報の保護が重要事項となっていますので、様々なところで配慮されていることを実感しました。私たちも、奉仕活動の際には、写真を含めた個人情報の取り扱いには配慮する必要がありますので注意しなければなりません。

冒頭で、日本の文化について触れましたが、先週、国技館で相撲観戦をしてきました。スライドはその際の場内の様子です。二人の横綱と大関安青錦が休場という残念な場所になりましたが、結果は皆さんご承知のとおり若隆景の逆転優勝という結果でした。私が観戦したのは週半ばでしたが、一番一番国技館が思っていた以上の歓声で満たされていました。勝敗が決した瞬間の場内全体の雰囲気、熱気はテレビ観戦では感じることもないもので、やはりライブ観戦というのは素晴らしいですね。スポーツでも、音楽でもそうですが、実際に行って観る、聴く、感じる機会を増やしていきたいと思いました。私たちの奉仕活動も、実際に参加すると多くのことを感じることができます。次年度も様々な機会がありますので、引き続き皆さんと多くの感動を共有したいと思います。

本日は、日本の伝統繋がりとなりますが、国場みの会員の卓話です。「浅草の祭り・日本の祭り～浅草に住んで、見て、触れて感じる日本文化」の話題は本年度テーマの「来て、見て、知って」にちなんで付けていただいたのだらうと勝手に想像しておりますが、本日は楽しみにしてきました。どうぞよろしく願いいたします。



【幹事報告】

山本 雄一 幹事

- 5月18日（月） 第1389回例会
- 5月19日（火） 第43回国分寺まつり実行委員会第1回役員会
- 5月19日（火） 2026-27年度第5回多摩中G協議会
- 5月19日（火） ロータリー財団委員会キックオフ
- 5月21日（木） 国分寺市商工会通常総代会懇親会
- 5月23日（土） 献血事業
- 5月25日（月） クラブリーダーシップラーニングセミナー



【委員会報告】

★出席委員会／出席報告

韓 哲 委員長

会員数	45名	免除	5名
有効会員数	40名		
出席者	22名	メイクアップ済	7名
出席者計	29名	出席率	73%
前々回の修正	なし		



【ニコニコボックス】

親睦活動委員会

角田 桂司 委員

- 村谷 晃司 会長 ・ 山本 雄一 幹事

皆様、お疲れ様です。先日の献血事業では、街頭での呼びかけなど皆様にご協力いただき、55名の方から献血をしていただきました。ありがとうございます。本日も国場さんの卓話を楽しみにしております。よろしくお祈りします。

- 浅川 直行 会員

本日の国場さんの会員卓話、楽しみにしています。よろしくお祈りします。

- 角田 桂司 会員

土曜日は献血者50名越えの55名お疲れ様でした。本日は国場さんの卓話を楽しみにしています。

- 鎌水 美生 会員

本日の卓話を楽しみにしています。

- 親睦活動委員会

親睦活動委員会、炉辺のお釣りをニコニコします。

【卓話】 「浅草の祭り・日本の祭り」

～浅草に住んで、見て、触れて感じる日本文化～



国場 みの 会員

本講義は、講師の浅草での生活体験を踏まえ、地域の魅力、特に名高い「三社祭」の歴史的背景と文化的意義を深掘りした内容である。浅草は神仏と人が共生し、生きた信仰が生活に溶け込むエリアであり、三社祭は単なる祭りではなく、人々のエネルギーを再生させ、地域の結

束を強化する重要な装置として機能することが解説される。祭りの起源から現代における役割まで、多角的な視点で浅草とその文化の素晴らしさを伝える。

浅草という街の魅力

常に人の往来があり、コロナ禍明け以降は日本人・外国人観光客で賑わい、日本語が聞こえないほど多様な言語が飛び交う。特に中国語やスペイン系の言語をよく耳にする。寺社仏閣やインスタ映えスポットが多く、写真撮影が日常風景となっている。夜も賑やかで、女性一人で歩いても怖さを感じにくい安全な街である一方様々な人々が混在する下町らしさがある。歴史ある土地でありながら気取らず古くからの住民と新たな住民が混在して生活している。

三社祭

浅草を代表する祭りで、毎年5月の第3金土日曜日に開催。草神社の氏子44ヶ町が中心となり、3日間で約180万人の人出を数える日本を代表する例祭の一つ。浅草神社は浅草寺の草創に関わる、檜前浜成・竹成兄弟と土師中知の3人を祀る神社で、地元の人びとは親しみを込めて「三社さま」と呼んでいる。浅草神社の祭礼「三社祭」は、鎌倉時代の正和元年（1312）に、神輿を船に載せて隅田川を渡御した船祭を起源とする。

祭りの本質と現代社会における機能

祭りは「ハレ（非日常）」の場であり、日常（ケ）で溜まった「気枯れ（ケガレ）」—鬱憤や疲れ—をエネルギーとして爆発させ、活力を取り戻すための装置である。

・ 信頼関係の再生

年齢を問わず地域の人々が交流し、ノンバーバルなコミュニケーションで信頼関係を構築する。

・ 防災セーフティネット

祭りがある地域は、災害時の機能復旧が早いという検証結果がある。

・ 文化の継承と地域活性化

言葉ではなく行動で示すことで地域の規則が形成され、活性化につながる。

【閉会点鐘】 村谷 晃司 会長



【5月23日実施 献血活動の様子】

東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長：村谷 晃司 幹事：山本 雄一

公共イメージ・会報委員会 委員長：田中 孝和 副委員長：浅川 直行 委員：輿水 香 委員：保坂 光彦

例会会場 国分寺市本町3-11-12 多摩信用金庫 国分寺支店3階

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F